

令和2年度

第2回 学校評議員会の実施報告書

岐阜県立羽島特別支援学校

校長 奥村 哲也

所在地 羽島市正木町大浦230-1 TEL 058-392-8181

1 会議の名称 岐阜県立羽島特別支援学校評議員会

2 会議の構成

委員	味岡 巖	大浦区長
	小川 圭三	元羽島ボランティア協会 事務局長
	平井 崇広	万灯会 まさき園施設長
	豊島 裕香	羽島市主任児童委員
	岡崎 晃子	P T A代表

(五十音順・敬称略)

学校職員

奥村 哲也	校長
鷺野 恵一	教頭
広井 隆司	教頭
不破 明美	小学部主事
由井真紀子	中学部主事
水野 裕子	高等部主事

3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者等から幅広く意見を求め、充実した教育活動を展開するとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。

4 会議の開催 期 日：令和3年2月19日（金）書面開催
出席者：委員5人 学校職員6人

5 会議の概要 (1) 令和2年度の教育活動について（小学部、中学部、高等部）
(2) 教育活動に関するアンケートについて
(3) 自己評価・学校関係者評価について
(4) その他
(5) 意見

○意見

(1) 令和2年度の教育活動について（小学部、中学部、高等部）

〔委員1〕

- ・コロナ対策で制約のある中、教育活動が大きく様変わりしたと思います。前例のないことに取り組んでいろいろな施策を考えることは、時間もかかり教職員の苦勞がよく理解できました。

[委員 2]

- ・コロナ禍において、各部の授業や行事にそれぞれ創意工夫された取組が生徒たちの活動力の向上につながっていると感じています。
- ・これからは、A I化が益々進み、タブレット端末等を活用した学習が盛んになっていくように感じています。

[委員 3]

- ・学校全体の行事の中止等残念な事が続きましたが、代替で色々な活動をされた事をお便りで知り、よかったですと思います。

[委員 4]

- ・感染症の収束時期や状況が不透明なことや、I C T活用のメリットを実感する場面もあったことにより、教育現場での活用頻度は増すと思われます。学校側の設備や活用スキルを充実させるだけでも大変かと思いますが、各家庭の様々な状況においても、できるだけ等しく活用ができるよう細やかな対応をお願いしたいと感じました。

(2) 教育活動に関するアンケートについて

[委員 1]

- ・コロナ禍では特に、地域から学校の様子がよく分からないので、学校だより等のプリントを回覧することも検討してください。

[委員 3]

- ・保護者より高い評価を得ていることは何よりも嬉しいことではないかと思います。低い評価となった意見を大切に、学校全体に周知しながら改善に努めていくことで、よい学校になっていくのだと思います。

[委員 4]

- ・教職員の児童生徒に対する心のこもった教育を感じる一方、実際の教育活動の場や進路について不安を感じている保護者がいると感じました。保護者同士の横のつながりをもちにくいことがその一因ではないかと思いました。不安や心配の多い保護者の横のつながりや情報交換の場を提供できる企画を検討してもらえるとよいと感じました。

[委員 5]

- ・学校と家庭の関わりが少なかったと思います。分散化やオンラインでの参観や交流等、学校の様子を保護者がもっと知り、関わるできるよう今後はお願いします。とはいえ、突然このような状況になったにも関わらず、限られた予算や人員を工夫して努力していただき、子どもたちが健康で楽しく学校に通うことができたことを教職員に感謝しています。ありがとうございました。

(3) 自己評価・学校関係者評価について

[委員 3]

- ・新型コロナウイルス感染防止対策により、クラスター等感染者の拡大に至らなかったことは、教職員一同の努力の結果ではないかと思います。

[委員 4]

- ・教育活動に関するアンケートをもとに、丁寧に「自己評価・学校関係者評価」がなされているようなので、信頼感・安心感を得ることができました。

○改善点など

1 情報を、いろいろな方法で、各ご家庭や地域にタイミングよく発信・配信していく。

◇ホームページをこまめに更新して児童生徒の活動の様子を伝え、「すぐメール」で適宜保護者に連絡する。【各部・各分掌】

◇児童生徒の活動の様子を掲載した情報誌「ろーたす通信」を、適宜回覧版にて地域の方にご覧いただく。【支援センター部】

◇ホームページに活動写真をこまめにアップする。【教務】

◇オンラインによる授業参観、地域の学校との交流、現場実習等の説明会、外部講師による授業などを計画・実施していく。【各部・各分掌】

◇限定した人数、広い会場やリモートによる分室、短時間、などの感染症対策を講じた上で、保護者同士の交流会や研修会を計画・実施していく。【渉外】

2 I C Tの積極的な活用を推進していく係りを設置し、学校全体で重点的に取り組む。

◇日常的にI C T機器に触れ、使い方や活用方法を学びながら、教職員のスキルを向上させる。

【学習研究部・全職員】

◇研究授業の様子を職員室にも配信し、授業交流する機会を増やす。

【学習研究部】

3 検討した結果、改善には至らなかったこと

◆掲示板を正面玄関付近の道路に面した所に設置する。(第1回での改善点)

- ・新型コロナウイルス感染防止対策のために、学校設備や備品など多くの予算を必要としていることなどから、設置は当面の間見合わせた。

6 会議のまとめ

第2回学校評議員会は書面開催としたが、評議員の皆様からは丁寧に前向きなご意見をたくさん頂戴できた。

児童生徒・保護者ともに感染症への不安もあったと思うが、学校が安全を第一に考え、精一杯対応してきたことに対して、温かいお言葉をいただいた。

また、今年度は新型コロナウイルスの影響により、本校の教育活動を保護者や地域の方にご覧いただく機会が減少したが、今後はI C Tを有効に活用し、よりよい方法を模索していきたい。